

汚染水を海に流すな 静岡市

福島に連帯海の日行動



静岡市駿河区の用宗 海岸で22日、東京電力 福島第一原発事故で出た汚染水の海洋放出に

「汚染水を海に流すな！」と訴える人たち＝22日、静岡市駿河区

反対し、福島の人たちと連帯する海の日行動が行われ、60人余が参加しました。近くで海水浴客もいるなか、横断幕やプラカードを持った参加者が「汚染水を海に流すな！」と声をあげました。

主催は、中部電力浜岡原発の再稼働反対で一致した静岡県内50以上の団体が構成する「浜岡原発の再稼働を許さない静岡県ネットワーク」。

主催者あいさつで世話人の藤原玲子さん（原発再稼働反対アクション@静岡）は、「菅政権は汚染水を海に放出すると一番安易な方法を決めたが、放出されれば将来にわたって子孫を苦しめることになる。汚染水を垂れ流すことを断固許さないよう声をあげよう」と呼びかけました。

リレートークで「海はみんなのもの。世界につながっている」「汚染水を出し核のゴミを出す原発はノー。浜岡原発は絶対再稼働させない」「誰かを犠牲にしてなりたつシステムはやめにしよう」などと力説しました。

「生業（なりわい）を返せ、地域を返せ！」を返せ、福島原発訴訟原告団、全国沿岸漁民連絡協議会からメッセージが寄せられました。

ギターや三線の演奏で替え歌を熱唱し、参加者も合唱しました。

「汚染水を海に流すな！」と訴える人たち＝22日、静岡市駿河区